

こんにちは

# 庄内町議会

です



No.56  
3月議会号  
30.4.20



余目酒田道路  
開通式

P30 関連記事

- ◆新庁舎事業着手で過去最大 …… 〈予 算〉 2
- ◆予算のポイント …… 〈新規事業〉 5
- ◆過去最大予算を審査 …… 〈予算特別委員会〉 6
- ◆4人が反対を表明 …… 〈予算討論〉 12
- ◆12人が町政を質す …… 〈一般質問〉 16
- ◆町の対応を検証 …… 〈常任委員会報告〉 24
- ◆町政を優しく解説 …… 〈議会解体親書〉 26

# 過去最大予算

# 可決

## 3月 定例会

### 会期

3月6日から  
19日まで

- 各会計補正予算 **8件**
- 各会計予算 **9件**
- 条例制定 **15件**
- 条例設定 **4件**
- 事件案件 **1件**
- 契約案件 **1件**
- 発議 **1件**
- 発委 **2件**
- 以上41件**  
原案どおり可決
- 追加発議 **1件**

## 合併後初の 附帯決議案

関連記事  
4P

### 一般会計

賛成10人 反対4人で可決

平成30年度予算は、前年度より14億4千900万円多い、135億5千600万円で過去最大です。厳しい財政状況のなかで、効率的に事業が組み立てられているかを審査しました。

### 収入

関連記事  
6P～11P

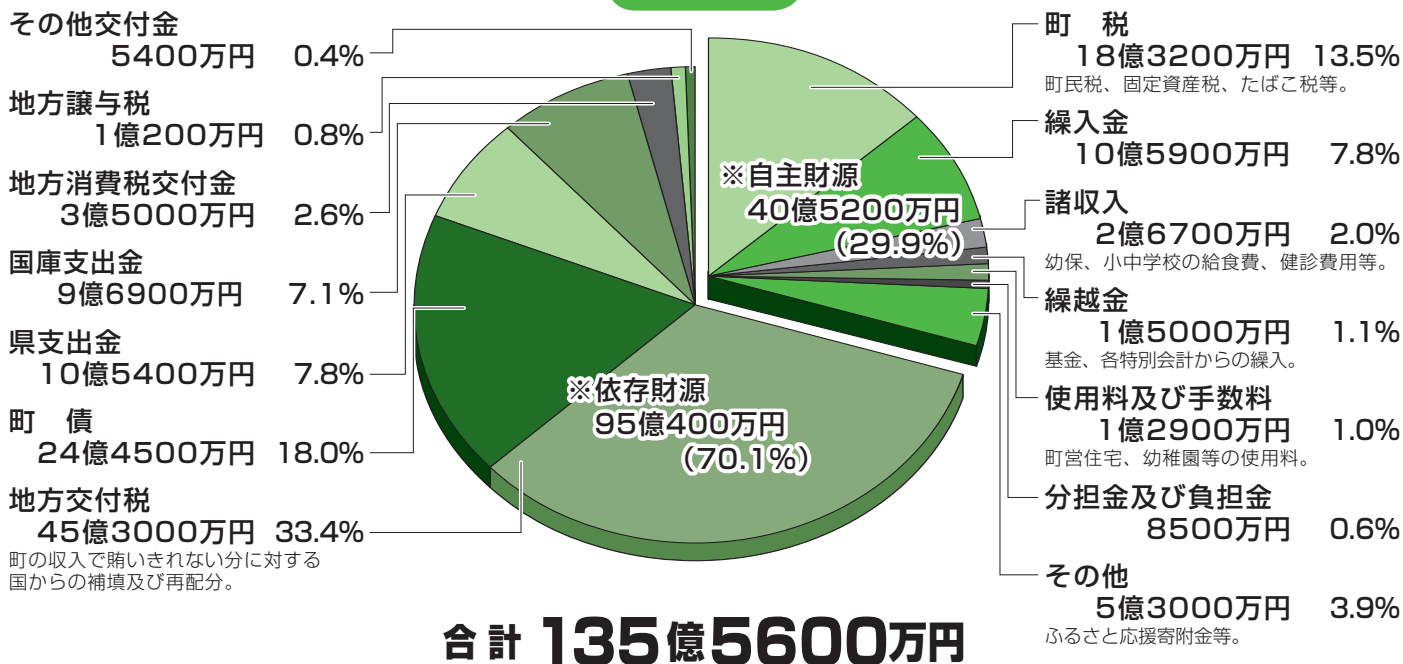
収入の最大の増額原因は、新規事業のために借り入れる本庁舎等整備事業債、立谷沢公民館耐震改修等事業債があります。なお、平成30年度末の町債残高は見込み額、155億5千190万円です。



余目酒田道路3月18日開通

## 否決

### 収入



※自主財源：町が自主的に収入する財源をいう。  
※依存財源：国や県から定められた額を収入する財源をいう。

# 平成30年度 予算

# 新庁舎事業着手の

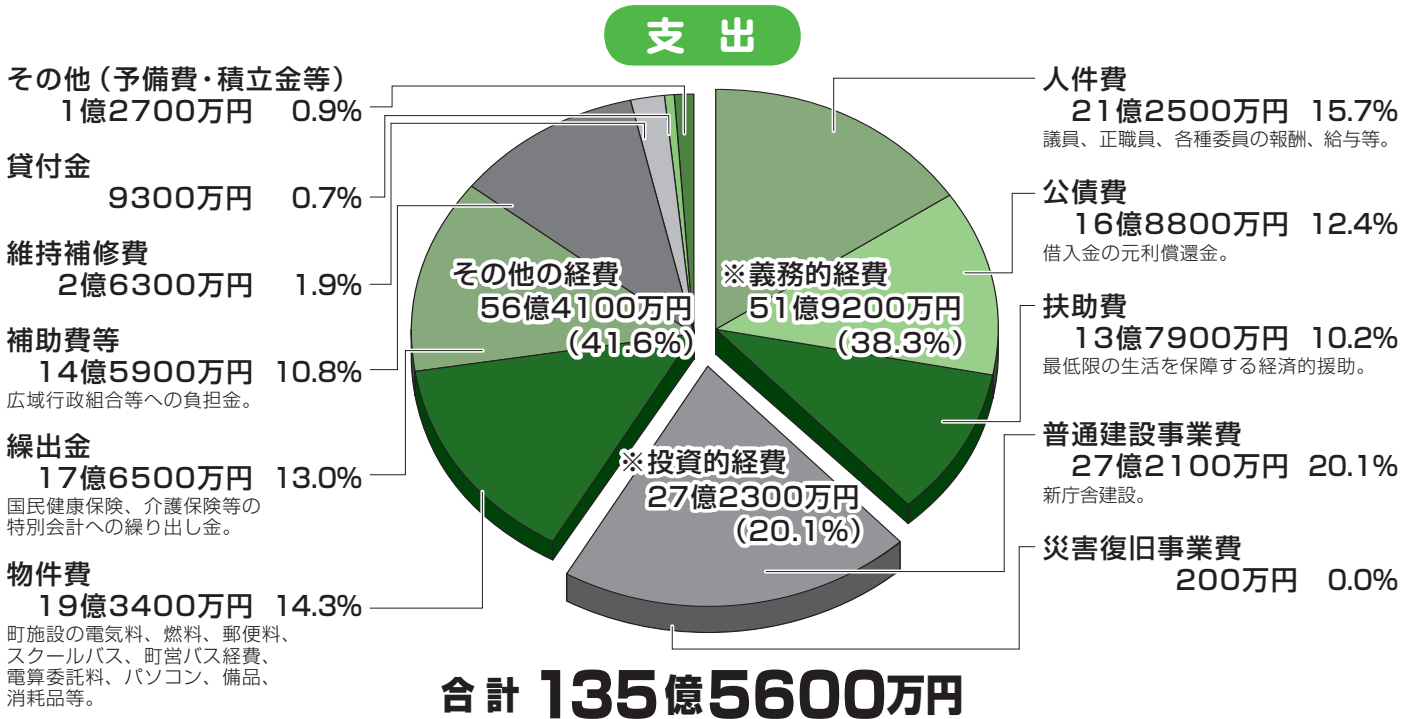
ガス事業	6億3千100万円	賛成全員で可決
水道事業	9億1千800万円	賛成全員で可決
風力発電事業	6千100万円	賛成全員で可決
下水道事業	8億1千700万円	賛成全員で可決
農業集落排水事業	2億6千400万円	賛成全員で可決
介護保険	27億1千500万円	賛成13人 反対1人で可決
後期高齢者医療保険	2億4千500万円	賛成全員で可決
国民健康保険	23億4千900万円	賛成全員で可決

## 特別会計

支出の最大の増額原因は、本庁舎等整備事業、立谷沢公民館耐震改修等事業、清川歴史公園整備事業等の大規模建設事業への着手です。

関連記事 5P

## 支出



# 附帯決議

# 議長裁決により否決

# 予算に附帯意見 賛成7人 反対7人 賛否同数

## あらすじ

一般会計予算を賛成多数で可決したのち、石川保議員から平成30年度予算に付帯意見を付す動議が提出されました。

提案者に対する質疑が行われた後に採決され賛成7人、反対7人の賛否同数となり議長裁決により否決されました。

## 附帯した意見とは

新年度予算の財産購入費868万円のなかに、余目駅前地内の私有道路を町道認定するため、町が買い取る予算が含まれていました。このことについて安易に買い取るのではなく、寄附していただくよう粘り強く交渉するなど、慎重な予算の執行に努めることです。

## 理由は

これまで、除雪など利害関係者の要望により町道認定する際は、寄附していただいたうえで町道認定するべきとの考え方がありました。

今回も、これまでとの整合性を図るため、また今後の町道認定の前例となることから、附帯決議を提出したものです。

## 附帯決議とは

あくまでも、予算を可決した後に意見を付すことから、予算修正動議のような町に対する強制力はありません。しかし、可決されれば議会の総意であることから、当局は結果を尊重することが一般的となっております。

## 附帯決議案

### 賛成した議員

齋藤秀紀  
五十嵐啓一  
押切のり子  
國分浩実  
小野一晴  
石川保  
上野幸美

### 反対した議員

石川武利  
澁谷勇悦  
齋藤健一  
鎌田準一  
工藤範子  
小林清悟  
村上順一



議論を呼んだ道路

JAあまらめ駅前倉庫北側

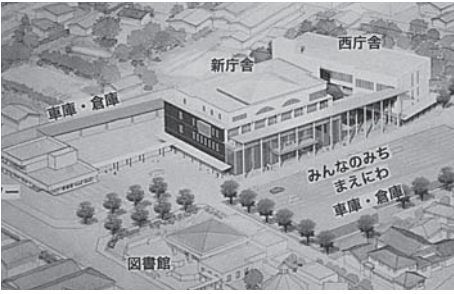
# 予算のポイント

**本庁舎等整備事業**  
13億1千635万円

安全・安心な防災拠点となる庁舎であり、まちづくりの拠点となる庁舎等を基本理念に3ヶ年におよぶ本庁舎等の整備工事に着手する。

また、西庁舎1Fフロアには、子育て支援センター等の機能を配置している。

**関連記事 18P**



**立谷沢公民館**  
**耐震改修等工事**  
1億3千979万円

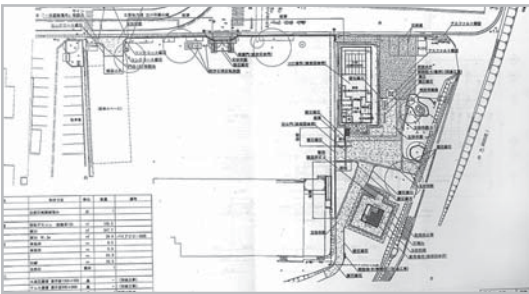


耐震改修工事のほか外壁改修や観光客との交流を図るための交流ギャラリー・トイレ等の整備を行い、情報発信と交流のための拠点を図る。

**清川歴史公園**  
**整備事業**  
1億1千63万円

「清川歴史公園整備基本計画（第1期）」清川関所（川口番所等）復元整備」に基づき建築工事を実施し、歴史と文化を体験できる拠点として整備する。

**関連記事 10P・12P**



**消防設備整備事業**  
7千5万円



老朽化の進む消防設備について、年次計画に基づいて更新を図るもの。消防ポンプ自動車2台の更新、消防ポンプ軽積載車1台の購入のほか、車庫・格納庫・ホース乾燥塔の整備を図る。

**ふれあいホーム**  
**払田建設事業**  
5千768万円

老朽化に伴い、新たな学童施設を早急に整備する必要があることから、余目第二公民館敷地内のゲートボール場の一部に、面積178㎡の木造平屋建てを新設する。



**酒田地区広域行政**  
**組合建設負担金**  
3千300万円



酒田地区広域行政組合ごみ焼却施設改良事業に対して、過疎債を財源とする負担金を支出するもの。

**関連記事 8P**

# 予算総額215億5500万円(一般会計予算と特別会計予算)はどう使われるのか

## 予算特別委員会

平成30年度の一般会計予算と8件の特別会計予算を3月13日・14日・15日に審査し原案のとおり可決しました。



委員長 小野 一晴  
副委員長 石川 武利

- 総務課
- 情報発信課
- 税務町民課
- 保健福祉課
- 会計室
- 教育委員会
- 監査委員
- 選挙管理委員会
- 固定資産評価審査委員会

### 総務文教 厚生分野

## 厳しい財政運営に 対処せよ

### 財政健全化を図れ

村上 順一 委員

#### 問

平成30年度予算から推測できる町の将来の負担では自治体の身の丈に合ったものかを測る実質債務残高比率は、目安とする指標の2.5倍近い数値になることが予想される。学校など、公共施設の今後40年間の更新費用は、524億円で単純に計算しても年額13億1千万円を要することになる。将来における財源、財政への配慮と将来世代への負担軽減に向けた、行財政運営に徹するべきでないか。

#### 町長

今後、更に厳しい財政状況が見込まれるため検証を行いながら更なる行財政改革に努力する。

### 借金財政が心配

工藤 範子 委員

#### 問

合併特例債や過疎債は、元利償還金の70%交付税措置されるが、公債費負担比率は、借金をすればするほど膨らみ、平成32年度〜34年度、財政運営の目安である危険ラインを越えている



この子たちに負担を残すな

町長 大丈夫なのか。 随時見直しながら財政運営に取り組んでいく。

#### 問

平成30年度末起債残高は、155億5千190万円、平成32年度〜34年度では、160億円台に膨らんでいる。要因は何か。

#### 町長

後年度の事業計画で膨らんでいる。

※実質債務残高比率 償還すべき地方債現在高と債務負担行為で支出すべき実質的な債務額の標準財政規模に対する割合  
※公債費負担比率 一般財源総額に対する公債費の割合

# 「子育て応援日本一」

## さらに充実させよ



思い出に残る1枚

### 赤ちゃんギフト 事業継続せよ

澁谷 勇悦 委員

**問**

平成29年度に初めて予算化した赤ちゃんギフト贈呈事業は、平成30年度は予算化していない。継続すべきでないか。

**町長**

この事業は国の補助を受け、平成29年度単年度限りである。利用者が、140人予定のうち62人（写真撮影26人・バスタオル36人）であった。平成30年度は、事業内容は継続するが、予算措置を負担金から報償費に変えて対応する。

### 公民館ランド 継続せよ

上野 幸美 委員

**問**

幼稚園入園前の在宅保育児童対象公民館ランドが廃止される。利用者から継続要望があった。なぜ廃止するのか。継続は出来ないか。

**町長**

参加者の減少と非常勤職員の勤務時間短縮による人手不足が廃止の理由であり、継続できない。

### デジタル化の 完了はいつか

齋藤 健一 委員

**問**

立川地区の防災行政無線が老朽化し、アナログからデジタル化への整備事業は平成30年度で完了するのか。

**町長**

平成30年度、緑町・狩川駅前・貢地目地内の3基を整備し完了する。

### 年々増額

### 高齢者運転免許証 自主返納支援事業

### 事業内容を考え 改めよ

押切のり子 委員

**問**

毎年自主返納者が増加し続け今後も支援事業費の増大が予想される。公共交通の更なる利便性を図り、支援期限を3年位にしているのか。

**町長**

毎年増加していることは理解している。時期を考えたながら対応していきたい。

### 地域差を考えよ

**問**

支援事業を活用し、立谷沢から余目までイベント等の外出支援にタクシー



タクシー券 遠方の人にも配慮して

券を活用すると一回往復で1万2千円以上かかるという。各地域同額の支援額でいいのか。

**町長**

時期を考えながら、検討していきたい。

※赤ちゃんギフト 3000円相当のギフト券を交付し、写真撮影、写真、写真立てを支給するもの。写真等を希望しない場合は、育児用品が支給される。

## 福利サービス見直し

鎌田 準一 委員

**問** 高齢者運転免許証自主返納支援事業は、運転免許証を自主返納し町が定める手続きをすることで毎年2万円分のタクシーサービス券がもらえる。この事業は、本人が健康に生活できている間は、毎年継続されているものでサービスの源泉かけ流し状態にならないか懸念される。

類似するサービスとのバランスや実施方法を含むスキームを検討すべきでないか。

**町長** 返納者は増加傾向にあり、予算も増加する。若年世代のサービスも含め国の施策も考えれば、電子カード化の時代もきていると考えている。

## 図書館改築は

石川 武利 委員

**問** 図書館整備については、先

常任委員会報告で、現在の場所への改築と提案があった。

図書館の改築についてどう考えているか。

**町長** 周辺の条件等としては現在の敷地に改築すると現段階では考えている。

## 清河八郎記念館 基金創設せよ

國分 浩実 委員

**問** ふるさと応援寄附金基金積立

金で、清河八郎記念館収蔵品の修復を目的とした積み立ては検討しないのか。

**町長** 修復が必要なものがあ

## 徹底せよ

小林 清悟 委員

**問** 酒田地区広域行政組合では、

新年度より、ごみ焼却施設の改良工事に着手する。これにあたり、規則で定めている組合構成市町の事業費割の負担率を、現在のごみ排出量に合わせて見直したが、この見直しにより本町の負担割が約1億2千万円増額した。この増額は、本町のごみ排出量の増加からであり、ごみの減量に力を入れてはどうか。

## ごみ減量

# 町民に周知せよ

**町長** は、増加傾向にあり、分別も含め町民のごみを減らす意識が重要。町では、その意識付けに取り組んでい

る。



余目図書館  
どうする図書館



分ければ資源、ゴミの減量につなげよ



- 農業委員会
- 企業課
- 商工観光課
- 農林課
- 建設課

# 産業建設分野

# 国からの交付金 返還なくせ



所得拡大で意識を高めよ

## 交付金 無駄にするな

齋藤 秀紀 委員

### 問

水田活用の直接支払交付金産地交付金は、平成29年度、残額は473万円である。この残額は国へ返還になることから残念である。平成30年度は残額の原因となっていないか。

る土壌改良剤不散布、捨て作り等申請取り下げになることは好ましくない。ヒアリングでの周知徹底と農家個々への対応で農家所得拡大につなげなければならぬがどうか。

### 町長

申請取り下げの原因は、現地調査で判明している。農家個々へ周知したい。

# 立川中学校線

# 急げ道路工事

## 早期に整備を

齋藤 健一 委員

### 問

町道整備で学校給食共同調理場前の大釜西裏線は狭い。早期に整備すべき必要性を申し上げますが状況はどうか。また、長年地域要望のあった立川中学校線の整備の状況は。

### 町長

大釜西裏線は平成30年度完了する。また、立川中学校線は平成31年度で完了予定である。

## 改修どうする

石川 武利 委員

### 問

小出沼公園にある、木造り橋りょうについては、腐

食が進み虫食い状態である。今後の改修はありなのか。

### 町長

今年度の改修は考えていない。周辺整備と照し合せて検討して行きたい。



拡幅で安全確保

共同調理場前

## 一店逸品支援せよ

國分 浩実 委員

**問**

一店逸品研究会への補助金は、新たに「まちゼミ」と言われる事業も検討さ

れている事から、これまで以上の支援が必要と思うがどうか。

**町長**

「まちゼミ」は承知している。町としても継続できるような支援をしていきたい。



今年の逸品はなんだろう

一店逸品フェア

## 清川歴史公園整備事業

## 計画内容を再考せよ

### 設計管理費の根拠はなにか

五十嵐啓一 委員

**問**

清川歴史公園事業の設計管理費は、工事費の6.1%になっている。本庁舎建設事業は工事費に対して1.2%でしかない。5倍も違う根拠はなにか

**町長**

設計業者から示された額と、国の積算基準を参考に予算化した。

### 設計ミスはないか

**問**

事業の中心になる船番所玄関ホールの中の部分が多い。また、見学通路は船番所の裏側から

玄関に入るようになっている。来館者目線を考えた設計なのか。

**町長**

地元準備委員会 の意見を参考に決定した。

### 試算不足でないか

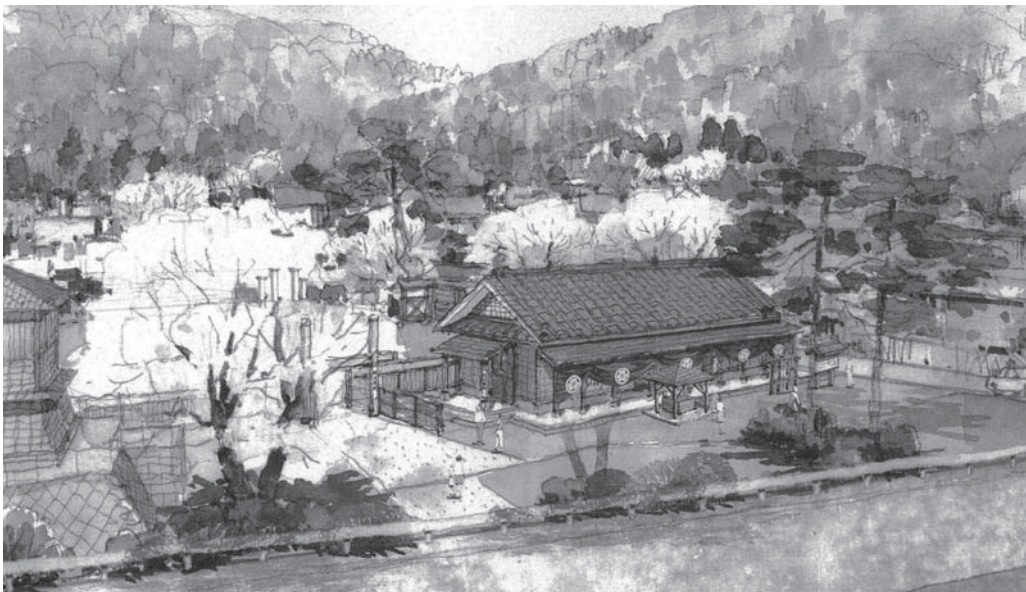
上野 幸美 委員

**問**

清川歴史公園整備事業の川口番所図面は、トイレが男女と誰でもトイレが各一つで集客数・売上額等、試算は不十分でないのか。

**町長**

客数は、当初年7千200人↓3万人↓10万人と想定した。町全体の活性化に効果がある。



清川振興の切札となるか

川口番所予想図

- ガス事業会計
- 水道事業会計
- 風力発電事業
- 下水道事業
- 農業集落排水事業
- 介護保険
- 後期高齢者医療保険
- 国民健康保険



# 風力発電事業 民間に支援を

## 風力発電 今後どうする

石川 保 委員

**問** 風力発電を活用し、東京都港区と協定を結ぶ予定のようだが、仕組み等はどうか。また、町営風車は設置後かなり経つが、今後どうするのか。

電力価格、協定期間等は今後の交渉となるが、風車も17年経つことから、国の買取を見据え、建て替えの是非を、平成31年中には結論づけたい。

**町長** 町営風車の電力を、民間事業所を介して港区へ再生可能エネルギーとして供給するもので、平成31年度からの実施をめざしている。

電力価格、協定期間等は今後の交渉となるが、風車も17年経つことから、国の買取を見据え、建て替えの是非を、平成31年中には結論づけたい。



庄内町は「風の町」 ウィンドーム資料室

## 介護保険

# おむつ支給費増額を

## 制度改正なのか

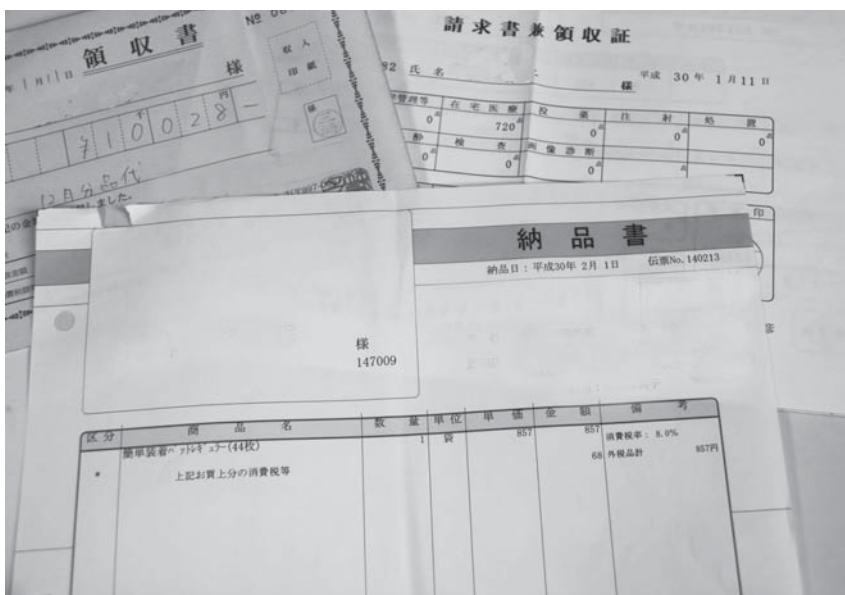
押切のり子 委員

**問** 地域支援事業の改正により、おむつ給付は介護保険から71万円、一般会計から138万円が予算化され、増額となっている。この事業は人の尊厳に

かかわる事業であり、制度改正による事業の増額となっているのか。これまでのサービスを継続するため、65以上の介護保険料を財源とする市町村特別給付で実施し、64才以下については、これまで通り一般会計予算で実施する。

**町長** これまでのサービスを継続するため、65以上の介護保険料を財源とする市町村特別給付で実施し、64才以下については、これまで通り一般会計予算で実施する。

かかわる事業であり、制度改正による事業の増額となっているのか。これまでのサービスを継続するため、65以上の介護保険料を財源とする市町村特別給付で実施し、64才以下については、これまで通り一般会計予算で実施する。



この負担、少しでも減らして上げたい

# 4人からの強い意見

## 清川歴史公園整備事業に疑問

この施設で集客できるのか

住民の安全を優先せよ



五十嵐啓一

清川歴史公園整備事業の監理業務委託料は工事費に対して6.1%。庁舎建設の監理業務委託料は工事費に対して1.2%であり、率で5倍

1 点目は、高麗門と正門の間を参道的に散策路として、玉砂利敷きや柴垣にして2つの門をくぐって船番所内に入館すべきである。

2 点目は、番所の玄関ホールは幅が2.2mしかなく、トイレスペースが多く占めている。また、この狭いホール

内で軽食を提供する売店も営業するとしているが、休憩スペースもない場所でのように接客を行うのか。利用するお客様目線になっていない。

平成30年度予算に、計上された清川歴史公園整備事業については提案通り進められるなら後世に負担を残すことになると判断し、再考を求める。



上野幸美

今年度一般会計予算は、本庁舎等整備事業の本格着手を含む、過去最大の135億5千600万円となった。合併算定替の特効効果は漸減されるなか、公債費は年々増加している。少子高齢化には歯止めはかからず、今後は財政的に厳しさを増すことが予想される。

建物ありきの事業は、空き家、高齢化率の高い清川地域の住民に将来負担にならないのか。この地域は県の定める土砂災害警戒区域であり、急傾斜地崩壊特別警戒区域でもある。住民の安全安心な暮らしを考えた施策を第一優先にすべきである。今ある歴史を貴重と思う事と同様に、この事業に町民がどう興味を持ち、盛り立てる機運が高まっているか。今一度耳を傾けるべきである。

反対した議員

- 五十嵐 啓一
- 小野 一晴
- 工藤 範子
- 上野 幸美



旧清川小学校跡地

清川歴史公園整備基本計画（第1期）清川関所復元整備に基づく事業は、来客数、経済効果等事業の見通しが甘く将来的不安がある。

反対  
討論

# 町益にならない

予算

## 将来に借金残すな



工藤 範子

平成30年度一般会計の前年度末起債残高(借金)は、155億5千190万円、32〜34年度まで160億円台に膨らみ続けている。  
公債費負担比率は31年度以降20%以上の警戒



観光が防災か

戒ラインである。財政シミュレーションに経常経費は、記載してないので、財政構造の弾力性がわからない。有利と言う合併特例債、過疎債も30%は借金であり、財政運営が疑問である。  
清川歴史公園整備事業は、3〜5年間の計画で概算12億5千万円の事業であり、地域住民は安全安心な防災拠点を望んでいる。  
歴史民俗資料館は、

検討委員会の議論を踏まえ、亀ノ尾の里資料館と統合すべきである。町湯は、なぜ毎年改修工事になるのか設計建築業者で検証すべきである。  
大型事業の建設や運営は課題が山積している。町民や職員の声を謙虚に受け止め、職場環境の改善に努めるべきである。

## 誤りは改めよ



小野 一晴

平成29年度予算において、一般職の非常勤職員の勤務時間を正規職員の4分の3以下に抑えないと違法になると誤認し、削減する必要のなかった勤務時間と報酬を15%削減した。

このことについて、削減する前に戻すようにとの予算組み替え動議を可決したにもかかわらず、町は予算を組み替える時間がなく4月1日まで間に合わないと動議に従わなかった。  
あれから1年が経ち保育園などでは、必要な人材が確保できないなどの行政サービスに支障が出ている。

## 賛成した議員

- 石川 武利
- 澁谷 悦利
- 齋藤 秀紀
- 押切 のり子
- 齋藤 健一
- 國分 浩一
- 鎌田 準一
- 石川 清保
- 小林 悟
- 村上 順一

これまで町は、自らの間違いを自ら正すチャンスがあった。一年間の時間的猶予があったにもかかわらず、新年度予算でも改めなかったことは遺憾であり、平成30年度予算に反対する理由である。

# 議案

議案は、一般会計予算、特別会計予算を含む全38件です。  
ここでは、部活動指導員の配置、小さな拠点について、報告します。

# 部活指導員 配置

## 余目中学校1人 立川中学校1人

### 部活動指導員とは何か

学校教育法施行規則が一部改正され、学校の教育課程として行われるものを除くスポーツ、文化、科学等に関する指導に従事する「部活動指導員」の名称及び職務等が明文化されたものです。

### なぜ配置するのか

教職員の多忙解消のため、部活動を担当する教職員を支援し、部活動の指導体制の充実を図るためです。

### 指導内容は

部活動指導員の職務は、技術指導のみならず、学校外での部活の引率、部活動の管理運営、生徒指導に係る対応等のほか、校長が顧問を命ずることも可能としています。

### 報酬の根拠は

平成30年度から、働き方改革推進事業に係る補助金が創設される補助金の積算根拠に1時間当りの単価が1千600円と示されています。



文武両道 ガンバレ

# 小さな拠点の設置・管理条例 決定

## 立谷沢川流域活性化センターの使い方

### 1 施設の内容

1階 6次産業化共同

利用加工場

菓子、惣菜及びビ

ン詰缶詰の工房

会議室、事務所

2階 定住促進住居

2室 1K

移住体験住居

1室 2LDK

### 2 1階の利用時間及び休館日

利用時間は9時から

21時まで、休館日は

12/29、1/3まで

### 3 施設の利用対象者

加工場 素材を製造加

工し、付加価値を付

けて販売することで

新規に事業の展開を

図ろうとする者又は

事業規模の拡大を図

ろうとする者で、次

のいずれかに該当す

るもの

(1) 本町に住所を有す

る者

(2) 立谷沢地区又は清

川地区の農林水産

物を素材に使用する

者  
(3) 設置目的の達成に

定住促進住居 本町に

住所を有するか、本

町に住所を移し居住

する意思のある者

(地域おこし協力隊

員、町外に住所を有

する者の順に優先入

居可)

移住体験住居 本町に

移住を検討している

町外に住所を有する

者で、単に観光又は

出張に伴う宿泊目的

でないもの(設置目

的のために行う調査、

研究及び活動する者

も利用可)

4 施設の利用期間

加工場

5年以内更新可

定住促進住居

2年間 更新可

移住体験住居

2日以上15日以内

5 使用料

加工場

1時間当たり500円、

光熱水道費含む

定住促進住居

1月当たり2万円、入

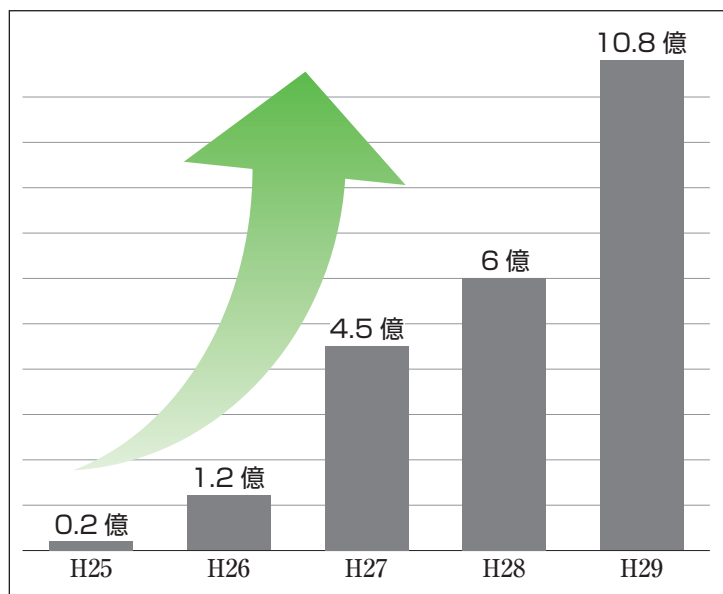
居時に敷金3箇月分

6万円

移住体験住居 無料

## ふるさと応援寄附金

# 10億円突破に対応



いつまで続く、右肩上がり

### 2億円の主な内訳

記念品代  
1億810万円

消耗品費  
17万円

通信運搬費  
3211万円

手数料  
92万円

## 2月 補正 予算

2月2日に臨時会を開催し、平成29年度庄内町一般会計補正予算2億920万円を追加しました。支出は、ふるさと応援寄附金2億円、町道整備事業債920万円です。

## 酒田地区広域行政組合の基金清算金

# 町に5840万円戻る



完成した余目分署

### 基金精算金とは

本町の分署の改築のために積立ってきた目的基金である。平成14年から積立られてきたが、今回条例廃止で戻ってくるお金です。

### 減債基金に積立て

減債基金に積立てる理由

当初の目的である分署の建設整備が大前提であったが現在は、必要がなくなり、いざという時に使える減債基金に積立ています。

## 3月 補正 予算

平成29年度庄内町一般会計補正予算は、2億4千236万円を追加するものです。主な支出は、減債基金積立て5千840万円、庄内町担い手確保・経営強化支援事業費補助金2千117万円、笠山山水線法面保護工事2千200万円、前田野目防雪柵設置工事2千万円です。



迫力ある飛龍太鼓で開通を祝う

余目酒田道路開通式

## 12 議員 20 問

太字でページ数のある質問の概略を紹介しています。  
全容は「庄内町議会」ホームページで見ることができます。

小林清悟議員

- 一、臨空工業団地あまるめについて

17 ページ

國分浩実議員

- 一、通学路の除雪について
- 二、移住・定住施策について

17 ページ

上野幸美議員

- 一、中心市街地の道路について
- 二、学校給食における食育の充実・地産地消の推進について

18 ページ

五十嵐啓一議員

- 一、新庁舎建設事業について
- 二、清川歴史公園整備事業について
- 三、都市計画道路の整備について

18 ページ

鎌田準一議員

- 一、町単独の行政サービスにおける電子ポイント化について

19 ページ

齋藤健一議員

- 一、町の林道管理について
- 二、行政組織機構について

19 ページ

押切のり子議員

- 一、地域活性化事業について

20 ページ

澁谷勇悦議員

- 一、道路行政について

20 ページ

工藤範子議員

- 一、豪雪と寒波による影響について
- 二、子育て支援について

21 ページ

齋藤秀紀議員

- 一、狩川保育園駐車場について
- 二、生ごみ分別について

21 ページ

石川武利議員

- 一、ひきこもり対策について

22 ページ

小野一晴議員

- 一、入札制度について
- 二、一般職非常勤職員の労働条件について

22 ページ



## 土地 開発公社

### 塩漬けの土地を解消せよ

町長 売り切ることを前提に



小林 清悟 議員

#### 問

土地開発公社の平成28年度決算は、317万円の黒字であるが、広域行政組合から入っている庄内食肉公社分の421万円は、平成32年度で終了する。収入が無くなる平成33年度からは赤字に転ずるのではないか。

#### 町長

庄内広域行政組合からの負担金収入が無くなってもすぐに赤字にならないキャッシュフローを考えている。しかし、全部を売り切れないにしても、ある程度は販売しないと赤字に転じてしまう。

#### 問

仮に、公社が解散し清算となれば、公社の保有土地を町が引き継ぎ、負債を町が肩代わりすることになると思うが、公社には3億円の借入金がある。町では、長期保有土地の解消に向けて、どう考え対応するのか。

#### 町長

公社の解散は考えず、少しずつ元金を減らしてきている。

現在、進出している企業の事業規模拡大による用地取得という話が2件あり、併せて新たな誘致を進め、未分譲地を減らしていく。まずは売り切ることを前提に業務を進める。



まだ売れないの 臨空工業団地

## 冬期間 通学路

### 安全を確保せよ

町長 地元と話し合いたい



國分 浩実 議員

#### 問

今年に入ってからの大雪で、通学路の除雪について相談を受けている。市街地でも道路わきは子どもの背丈ほどの雪が積み上がった。特に国道47号南側（縁石側）は、歩道にはなっているが、小型除雪機も入るのが難しく、子供たちは車道を歩かざるを得ず、保護者が同行して安全を確保している。

次年度の降雪期まで、地域住民と通学路の除雪体制を改めて協議し、安全を確保すべきと思うがどうか。

#### 町長

旧国道47号沿いの歩道は幅が狭く、除雪機械が入れない。近隣の住民が都市下水路に雪を入れ、除雪の協力をしていただいている。しかし、なかには空き家があり、除雪をしていない部分もある。通学時に歩道

を歩けない場合が出てくる。

自助、共助、公助という形のなかで、付近の住民から除雪のご協力をいただければと考えている。課題は多いが、県や地元の方と話し合いをしていきたい。



冬は歩道が歩けない 旧国道47号

## 下梵天塚廿六木線

整備に着手せよ

町長 すぐには着手できない



上野 幸美 議員

問

3月18日に余目酒田道路が開通する。通り過ぎの町にならないために、新庁舎、主要施設へのわかりやすいアクセス道や案内表示が求められる。今後、新庁舎建設工事を前に町道三人谷地興野線道路改良工事が始まる。この機会に都市計画道下梵天塚廿六木線整備に着手すべきだと思うが、整備の見通しはどうか。

町長

響ホールから八幡神社まで通じるようになれば利便性の高い道路となる。しかし、ルート上には



逆走するな

余目IC

問

新余目酒田道から市街地や目的地へのスムーズな移動、交通安全確保のため、具体的にどう取り組むのか。

家屋が密集しており、多額の移転補償費を要する。必要性は認めながらも、今すぐ着手することは早計と考えている。

町長

インターチェンジや、付近の交差点の安全確保のため、3月12、13日に現地で見学、説明会を開催し、今後、高齢者を含めて利用者が安全安心に通行できるように配慮したい。案内標識は、国土交通省が必要に応じ設置している。

## 新庁舎駐車場

旧消防余目分署を活用せよ

町長 来庁者の駐車場を優先する



五十嵐啓一 議員

問

新庁舎建設事業は具体的に建設が始まる。計画通りに事業を進めるためには、来庁者や職員の駐車場の確保と、工事現場事務所、資材置き場の確保が重要になる。新たに造成を計画している駐車場の整備を早急に実施すべきでないか。

町長

駐車場整備工事は発注は新年度に行く。発注済のアクセス道路工事と調整し、早い着工と完成を目指す。旧余目分署を解体して来庁者



解体の前にもう一仕事

町長

旧余目分署を新庁舎整備課の事務室にすることも検討した。西庁舎の改修が始まれば、情報発

の駐車場を確保する計画である。西庁舎の改修工事に着工するので、新庁舎整備課、設計業者の事務所として旧余目分署の解体は、庁舎建設終了まで延期すべきでないか。信課も移動しなければならぬ。しかし、来客用の駐車場が不足することから、町民第一に考え解体することとした。新庁舎の工事と同時に旧余目分署は解体する。現場事務所や資材置き場は、最小限のスペースとなるように設計業者と精査している。

※ 4 高校再編整備計画とは、P 23用語解説を参照。

## 電子ポイント化

町長

### 町のサービス券等のポイント化を図れ 解決策等を含め検討する



鎌田 準一 議員

問

運転免許証返納支援、福祉温泉利用、庄内総合高等学校支援、更に健康しようないマイレージ等の事業を展開し、福祉の充実を図っている。一連の事業展開のなか協力店で使用可能なサービス券や割引券のほか、商品券やサービスシールを交付する形態である。

これらの対価をポイント化し電子カードにすることで、福利サービスの拡充や、町民の利便性を図りながら協働のすそ野を広げるべきでないか。

町長

民間では既に色々なポイントがカード化されている。どんどん多様化し、提携先が増えてきている。その民間と比較して、行政がどこまで手を出していくべきか考えていく必要がある。店主の高齢化、後継者不足、

空き店舗の増加という商店街全体に及ぶ課題を、電子ポイント化によってどのように解決できるのか。産業振興施策全体を見据えながら、その必要性、費用対効果、あるいは他の手法を検討しなければならない。



電子ポイント化で便利になるかも

## 林道管理

町長

### すべて町でせよ 直接管理する



齋藤 健一 議員

問

町の林道は18路線あるが、うち5路線は町の直接維持管理、残り13路線は地元の林道組合が、町からの一部補助金と、大部分は、山の所有者からの賦課金で、草刈り、砂利敷、側溝泥上げ、倒木処理などを実施し、通行に支障のないよう管理している。

町の林道であることから、管理責任は町に帰属するものであり、管理はすべて町で実施すべきでないか。

町長 林道管理組合連合会の総会で組合員の高齢化や地権

者の転居等から、管理方法の見直しの意見があった。これまで各組合の管理方法や現状の課題について研修し、新年度からは、町が直接管理する方法に一本化する。

18路線すべての林道の補修・修繕料、支障木の処理手数料、草刈り委託料、合計277万円を予算化し、町が直接管理する。



町で代わって管理します

※ タチラボレディー(仮称) 立谷沢川流域活性化センターに設置される6次産業化共同利用加工場を支援し、仲間づくりなどの交流と所得向上等、立谷沢地域活性化の一助となることを目指し集う女性の会のことです。

## 地域活性化

### 立谷沢川流域の事業を継続せよ

町長 仕組みを考えている



押切のり子 議員

問

立谷沢、清川地域に活性化、観光交流事業の施設が整備される。事業内容から、同じ年代の女性層が担い手となることが予想される。将来的に担い手不足になる心配はないのか。

町長

「タチラボレディース」を核とし、派生的に広がることを支援する。地域の方々を中心に、よそから来られる方を巻き込み、地域が元気になっていく仕組みを考えている。

問

この地域を滞在型観光交流の



経験を生かして知恵をしぼる タチラボレディース

拠点としている。立地条件を考慮すると、にぎわいと公共交通の利便性は切り離せない。今後、どうするのか。

町長

公共交通などあるが、今のままでいいと思っていない。デマンド化、NPOによる乗合バスやタクシー等の対応が考えられる。

問

「大中島ふれあい館」は、より地域にお金が落ちる施設として活用できるように、条例改正を行うてはどうか。

町長

観光交流施設と位置付ける場合、課題もある。しかし、有効な活用があり方を町民の意見を確認しながら検討していく。

## 町道認定

### 実現を急げ

町長 認定可能かを調査・検討する



澁谷 勇悦 議員

問

前田製管本社工場東側の通称前田道路は、会社の好意で一般の通行に供されている私道である。町民の一部でも以前から話題になっており、議会でも平成15年に議論したが、町道認定の質疑はなく、今日に至っている。現在は町の除雪路線であるが、路面の維持は会社等で行っている。また、交通事故等の場合の責任問題も危惧される。

関係者の安全性を高めるため町道認定を行い、維持管理すべきでないか。

町長

前田製管本社より、同社余目工場前の道路を町道認定してほしいとの要望を受けている。道路敷地は前田製管社有地と最上川土地改良区所有の水路敷きである。前田製管前の道路のほか、駅裏の町道沢田



どうなる町道認定 前田製管地内

福原中堀野線から前田製管を通り、陸羽西線踏切を越え、常万の旧国道までの道路は、町道認定されていない。これから道路沿線の土地の所有者の調査や現地調査を行い、町道認定が可能かについて調査、検討していく。

## 町湯 学校

### 凍結原因は何か

**町長** 寒波と設備の劣化である



工藤 範子 議員

**問** 今冬は大雪と寒波で水道管等の凍結や臨時休校があったが、原因は何か。

### 町長

2月1日から寒波で機械室内のポンプが凍結し破裂した。更に、屋上の高架水槽の配管も凍結したため、2月5日臨時休校とした。凍結防止対策は行われていたが、設備の劣化があったものと思われる。

### 問

町湯も3日間休業した。近隣のぼっぼの湯、アイアイ、田田等は、十数年経過してるが、凍結での休業は無いとのこと。

特にアイアイは、高台の施設である。

町湯は完成から3年余、これまでの修繕費627万円余り、今回の工事費は16万円である。なぜ毎年改修工事になるのか。また、設計、建設業者で検証すべきでないか。

### 町長

1月23日から寒波で源泉小屋の配管が凍結し、浴槽に源泉を送水できず1月25日から27日まで臨時休業した。凍結防止対策は行われていた。今後、冬期間は常時送水状態にすることをマニュアル化した。



にぎわいのためにも対策は必要 町湯

## 狩川 保育園

### 駐車場確保せよ

**町長** 駐車場不足は確認している



齋藤 秀紀 議員

### 問

狩川保育園の駐車場は、職員50人対して駐車14台分、園児90人に対して駐車7台分、送迎に時間差はあるが、混雑は必然に起きる。狭い上に安全性にも疑問がある。冬場は除雪の雪が壁になり、出口は安全確認が出来ない。園内の桜の木の所を整備すれば、駐車スペースは取れる。また、旧消防立川分署の解体でかなり改善する。現在、建物は倉庫で使用しているが保育園の駐車場に変えた方が町益となるかどうか。

### 町長

駐車場は一度排雪したが、今年には降雪量が例年より多く、奥行きや幅は狭くなった。送迎する保護者から交通安全に協力をいただいている。また、狩川公民館の駐車場を利用し、送迎の協力もいただいている。駐車場は送迎バスを優先する造りであり、桜は憩いの場所として植樹されている。旧消防立川分署敷地は除雪が難しく、冬期は駐車できない。分署の利用は、立川庁舎周辺の活用計画と調整しなければならぬ。駐車場不足は把握しているので検討していく。



なんとかして駐車場 狩川保育園

## ひきこもり支援

### 社会復帰へつなげよ

町長 相談者は就労に結びついている



石川 武利 議員

#### 問

ひきこもり者については、平成25年度に民生委員・児童委員へのアンケート調査で、どのように支援したら良いかわからないと答えたのが半数以上あり、対応の難しさが浮きぼりとなった。ひきこもり者を一人でも多く、社会復帰へつなげるため、次の4点について町の考えはどうか。

ア、本町の実態と相談窓口の成果は。

イ、ひきこもりサポーターは。

ウ、実態調査の手法は。

エ、居場所づくりは。

#### 町長

ア、40人弱と把握している。相談面談は、平成28年度5件、29年度5件で、4件が就労に結びついている。イ、サポーター養成講座に民生・児童委員や保健師が参加し、講座を修了した方が相談員になっている。ウ、定例会や見守り会議等で事例発表や情報交換をしている。そのうえで実態調査に協力をいただく。エ、ひまわり園で実施している障害者相談支援センターや地域活動支援センターが最初の居場所と考えている。



ていねいな支援が不可欠

## 建設工事格付

### 混乱を招くな

町長 規程の制定で対応する



小野 一晴 議員

#### 問

建設工事指名競争入札の格付は、これまでの3段階から4段階に変更するとのことだが、議会が提案した「完成した工事の出来栄を正確に評価することで業者の努力を格付に反映させるシステム」を並行して導入できるのか。ただ4段階にするのでは、混乱するだけではないか。

町長 工事を正確に評価するため、工事検査規程を作成中である。多くの審査事項があり、業者の対応や検査する側のスキル

#### 町長

が求められる。今、シミュレーションを行っており、規程を平成30年度中に完成したい。

問 各ランクの指名機会を平等にするのを目的としているようだが、請負金額のバランスを考慮する必要はないのか。

町長 指名機会の均等化は商工会からの要望に応えた。そのことと請負金額については、平成30年度の工事発注実績をデータ化し、状況をみる。その結果、必要があれば平成31年度に改正することも検討したい。



地元業者 いい仕事してますネー

# 文部科学大臣表彰受賞

## 3年継続し、議会も協力

どんな活動が  
評価された

1月11日、キャリア教育の充実発展に尽力したとして、庄内総合高校が「第11回キャリア教育優良学校文部科学大臣表彰」を受賞しました。

庄内総合高校は総合学科として約20年の歴史があり、地域団体や企業、幼稚園、小学校と連携するなど、教育活動全体を通じた体系

的なキャリア教育を実施しています。地域への理解や愛着を育もう

と「地域の自然」在来野菜も活用した「フードデザイン」といった多彩な科目を設定しています。また、行政課題の解決に向けた提案を行う「ふるさと探求」など生徒のキャリア形成につながる積極的な取り組みが評価につながりました。



地域に溶けこむ庄総生

庄内町議会も  
アドバイス

地域の課題解決に取り組んだクラスに、副議長、常任委員会正副委員長がアドバイザーとして参加しました。

1月24日開催の研究発表会には、議員全員が傍聴し成果の確認と声援を送りました。

庄内町も  
支援しています

地元庄内総合高校を応援するため、新入学時に2万円の商品券を通学定期代の30%相当額の商品券贈呈などの支援をしています。また、ふるさと応援寄付金の中から、300万円を庄内総合高校支援の一環として、オリンピック選手輩出するための環境整備費として補助しました。

## 副町長人事

平成29年11月9日の臨時議会で、阿部金彦さんを選任することに同意しました。

副町長に就任インタビュー

質問 4ヶ月を経過した感想は

あつという間の4ヶ月。夜・休日も含め町内外の各機関・団体等の事業へ出席（代理も含め）が多く、町3役の役割の大変さに驚いている。

質問 議会との関係で留意することは

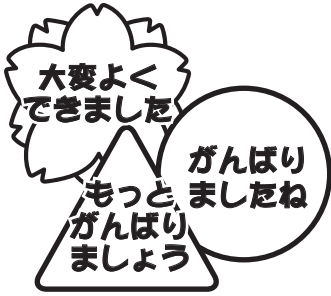
ひと言。誠意をもって任に当たること。

質問 町の当面する課題と、副町長の職務は

今年度から新庁舎建設が始まり、新しい組織機構の体制強化も予定されている。これらをスムーズに進めるため町内外の調整を図り、職員が健康で町民のために活躍できる環境づくりに努めたい。



誠意をもってがんばります



# 3段階評価

## 総務文教厚生 常任委員会

- 遊休財産の有効活用について（平成27年9月定例会報告）
  - (1) 適正な財産管理について
  - (2) 売却について
  - (3) 遊休財産以外の普通財産について

- 学童保育のあり方について（平成25年12月定例会報告）
  - (1) 施設について
  - (2) 運営について



一目で解る地図データ

### GIS利用で 新たな有効活用を図れ

#### 適正な財産管理

台帳整理では所在地が飛地しているなど、詳細な表記となっていない箇所があり、個々の所在地を表記すべきである。所在地で現地確認が困難な場所については、地図による表記をすべきである。

#### 町の対応（抜粋）

町は、従来の表データによる台帳整理に加え、データの示す場所を地図上に落とし込んで位置づけることが可能なシステムGISを導入した。町の公有財産を視覚的に見ることが可能になるとしている。

### 第四小に ふれあいホーム設置

#### 施設について

各学区に学童保育施設を設置すべきである。学校施設の余裕教室の活用が必要である。

#### 町の対応（抜粋）

平成27年4月「ふれあいホームわごう」が第四小学校の余裕教室を活用し開設された。これにより、全ての学区に学童保育施設が

#### 新たな意見

設置された。第二小学校に空き教室がないという判断から、第二学区のふれあいホーム払田を第二公民館の敷地に新築することになった。今後、計画的な整備をするために、小学校の空き教室の判断基準を示すべきである。



でも新たな意見



# 追跡 常任委員会の提言 町の対応

## 産業建設 常任委員会

- 市街地の整備について（平成 25 年 6 月定例会報告）
  - （1）街路の整備について
  - （2）空き店舗・空き家・空き地の有効利用について
- 起業・創業支援について（平成 25 年 12 月定例会報告）
  - （1）起業・創業支援システムについて
  - （2）地域特性を生かした産業の振興について



老朽アーケード撤去でスッキリ

がんばり  
ましたね



空き店舗の利活用

もっと  
がんばり  
ましょう

進まない旧国道47号線歩道整備

アーケードは撤去

### 街路の整備

歩道整備協議会（仮称）の設立に助力し県に歩道整備を強く要望すべきである。

### 町の対応（抜粋）

「歩道整備協議会（仮称）」を設立したい。しかし、店舗等の官地

へのはみ出しなど難しい問題があり、県からは地元の合意形成、地域活性化のためのイベント開催などが求められている。青葉通りのアーケード老朽化については、既に平成27年度に撤去が完了している。

起業・創業者の

発掘・育成が重要

### 起業・創業支援

現行の施策では、特定金融機関からの借入れを前提とした金利補填でしかなく、起業時の補助金も検討すべきである。また、各種ある国・県の施策もすばやく情報を入手し、紹介すべきである。

### 町の対応（抜粋）

起業家応援補助金に「改装費支援事業」を追加し、空き店舗利用の拡充や事業の認知度向上に努めている。創業支援に取り組む金融機関や、6次産業に関する農家等、連携しやすい体制を整える準備をしている。

# 体親書

たい

しん

しょ



## 国民健康保険の県一本化

### 寄らば大樹の陰なのか

平成30年度から国民健康保険の大改革が行われます。この改革は本町をはじめ国保運営に四苦八苦する全国の自治体にとって「寄らば大樹の陰」となるのでしょうか、検証してみましょう

#### 国保の誕生

昭和33年に国民皆保険制度として、現在の市町村運営である国民健康保険が誕生して60年。憲法で定める国民の生存権を保証するための保険制度のほずですが、その財政責任と運営は市町村に委ねられてきました。

ななかで市町村は制度を維持するために加入者負担を上げるか、または市町村負担を増やすか厳しい選択を絶えず迫られてきました。

#### 庄内町の対応

半分は町が  
半分は値上げ

本町も、これまで保険税を引き上げなければ対応できない年が何度もありました。

その際は、原則として上げ幅の半分は町の一般会計からの持ち出し（法定外繰入）、もう半分を保険税の値上げで対応してきました。

今後しばらくは、基金や国の支援があることで法定外繰入をすることはないと思われま

#### 国保税は

上がるのか

結論から言うと

上がらないはず

少なくとも国の支援があるうちは。

国保税額は県内の自治体によって色々です。

平成28年の一人当たりの保険税額を見ると

最高は大石田町の12万6千636円から最低は小国町の7万9千411円

あり、本町は32市町村（広域組合1）中24位の9万4千417円です。

この額が増額するこ

とのないように、保険税を算定する際の分母

から国の支援を差し引いた額を各市町村に配

分します。

### 今後の見通し

#### 国の支援とは

国は、国保の都道府県一本化を支援するため「保険者努力支援」

等として平成30年と31年は、年間1千700億円

の予算を確保するとしています。

この金額を単純に全国の被保険者数で割り

返すと、山形県への配分は約17億円となります。

なお、厚生労働省によ

ると、平成31年度以降も支援を継続する予定とのことです。



## メリットがあるのか

### 多数回該当

高額医療費制度において、1カ月間の自己負担額には上限があります。

1年間に3回対象になると4回目から「多数回該当」となり自己負担額はさらに低くなります。

これまでは転入出した際、この回数がりセットされました。

新制度では、県内の市町村であれば移動しても通算されます。

### 国保の財政運営

過去の実績から、1年間の保険税額を算出しますが、実際かかった医療費と大きな差異が生じることがあります。

これまでは、町独自の財源でやり繰りしていましたが、今年からは県から示された負担金を納付すれば、医療費が増額しても県が交付することになります。

## まとめ

今年度からスタートする国保の県一本化。

忘れてならないのは県に保険運営を丸投げするのではなく、市町村も県とともに、国保運営の健全化に向けて努力しなければならぬということです。

まずは、国保税の収納率の向上です。

最高は西川町の99.78%、最低は山形市の91.12%であり、本町は32市町村中15位の96.52%です。

それぞれの市町村で様々な事情があるうとも、この受益者負担の責任を果たすことが初めの一歩ではないでしょうか。

わかりたいしんしょ

# 解体親書 3版 地域おこし協力隊



## 全国から6人の隊員が活躍中

### 地域おこし協力隊とは

都市部の若者が地方へ移住し、地域活性化の活動に取り組んでもらう人に、自治体が委嘱する事業です。

### どのような活動なの

その地域に移り住み、地域ブランドや地場産品の開発・販売・PRなどの地域おこしの支援や、農林水産業への従事、住民の生活支援や地域の活性化などに取り組みます。

### 庄内町にはどこから来ているの

3年前に1人受け入れし、今年3月に任務が終了しました。現在は、6人が活動しています。  
神奈川県(2人)  
京都府(1人)  
東京都(1人)  
沖縄県(1人)  
青森県(1人)

### この制度はいつから始まったの

総務省が平成20年に始め、活動費などは国が受け入れ自治体に補助しています。

### 全国で何人の協力隊員がいますか

平成29年度は全国で997の自治体で約4千830人が県内では79人が活動しています。

### 活動期間は制限あるの

1年から3年の期間で協力隊として活動します。3年後は、国の支援も終了し、その後も活動した地域に定住して就労していただくのが目的でもあります。約6割が定住しています。

芽を出して



根を張ってほしいな

特選

# 山形県議会広報コンクール 「こんにちは 庄内町議会です」

内容のわかり易さ、好評価を受けた

第23回山形県町村議会広報コンクールにおいて、議会広報No.52号が特選（一位）の栄誉に輝きました。

五十嵐啓一委員長は「受賞は広報委員だけのものではなく、庄内町議会が一丸となって議会改革を進めてきた結果」と挨拶しました。



この可愛い表紙も好評価



4年間の努力が実る

## 全国町村議会議長会表彰



工藤 のり子

平成30年2月に議員在職15年表彰を、工藤範子議員が受賞されました。

工藤議員は平成14年に初当選以来、15年以上町議会議員を務めてきました。

## 山形県町村議会議長会表彰

石川 武利

平成30年2月に議員在職11年表彰を、石川武利議員が受賞されました。

石川議員は平成18年に初当選以来、11年以上町議会議員を務めてきました。



※「特選」 審査員3人の平均点が90点以上が対象です。今回は庄内町議会広報のみ特選です。

# 生声ひろば

ゆさ 齋藤 倅 装さん  
(余目第二小6年生)

インタビュー

## 余目酒田道路開通

3月18日、町民待望の余目酒田道路の開通式が行われました。多くの来賓が参列し、テープカットで開通を祝いました。

地元の小学生も開通式に招待され、その中の一人、余目第二小学校6年生の齋藤倅装さん(表紙右)に開通式に参列した感想を聞きました。

**問** 開通式へ参列が決まった時の気持ちはどうでしたか。

**答** 自分でいいのかって思いましたが、家族からは、このような経験をすることはめったにないのでやってみたらと言われました。



ねころんで大はしゃぎ



**問** 実際にテープカットしてどうでしたか。

**答** とても緊張しました。

**問** 吉村知事と何かお話はしましたか。

**答** 「家は近くですか」と聞かれました。少しお話をしてみました。とても優しい感じでした。

**問** 新しい道路が開通した感想はありますか。

**答** ずっと工事を見ていたので、早く完成しないかなって思っていました。

多くの人が庄内町に来てくれたらいいと思います。多くの町民の利便性が高まり、また、子供たちの将来にもプラスになることを期待します。

## 新局長を迎え 新たな体制で スタート

今回の定期人事異動により、情報発信課より小林裕之さん(写真中央)が、議会事務局長として着任しました。

書記の堀純子さん(写真左)、長南邦さん(写真右)との新体制となります。

小林局長 「議会運営の要となるように頑張ります」



▼国際情勢は北朝鮮の対応の変化を契機に、大きく変わりつつある。世界をリードする大国の責任と行動に注目したい。

▼財務省の公文書偽造で、森友学園への国有地売却問題が再燃し、連日マスコミ報道されている。国民の不満は政治に対して厳しく向けられている。国民が納得する形で終息することを望みたい。

▼本町の平成30年度一般会計予算は、過去最大の135億円超えの規模になった。増額要因は新庁舎整備事業であるが、有利な特例債の活用とはいえ、後世に過大な借金を残すことにならないようしなければならぬ。

- 発行人 議長 吉宮 茂
- 議会広報常任委員会
- 委員長 五十嵐啓一
  - 副委員長 齋藤 秀紀
  - 委員 上野 幸美
  - 委員 澁谷 勇悦
  - 委員 鎌田 準一
  - 委員 國分 浩実